令和７年３月

湯 梨 浜 町 議 会 定 例 会

令和７年度

一般会計

当初予算参考資料

（歳出予算　事業概要書）

東 伯 郡 湯 梨 浜 町

【生涯学習･人権推進課】

令和７年度　一般会計

当初予算参考資料　目次

歳出予算

款	項	ページ
２．総務費		
	１．総務管理費	1
３．民生費		
	１．社会福祉費	2
	２．児童福祉費	6
５．農林水産業費		
	１．農業費	8
７．土木費		
	１．都市計画費	10
９．教育費		
	４．社会教育費	12
	５．保健体育費	47
	６．人権教育費	58

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0130	カヌー艇庫管理事業　（簡略番号：001350）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総ー総ーその他		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		425	403	22	403	315
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他		1	△1	1	
	一般財源	425	402	23	402	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
艇庫施設の光熱水費、建物共済及び機械警備料等の維持管理費
需用費（光熱水費、修繕料）
役務費（電話代、建物共済保険）
委託料（機械警備料）

【事業の必要性】
東郷池を中心とした観光振興策の一環として、また、県内では東郷湖でしか取り組まれていない競技でもある。東郷湖を活用した町の活性化やドラゴンカヌー事業に資するための施設を適切に管理するために必要。また、平成28年度より湯梨浜町観光協会が取り組んでいる教育旅行プラン「東郷湖ドラゴンカヌー体験」により県外から中・高校生の修学旅行の誘致によりドラゴンカヌーへの関心も高まってきている。

2. 根拠法令
東郷湖ドラゴンカヌー艇庫の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況
東郷湖羽合臨海公園敷地を都市公園法第5条第2項の規定により設置許可を受けている。

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
施設の適正な維持管理が図られる。
【令和6年度評価】
ドラゴンカヌー大会開催及び、教育研修旅行としての利用が昨年に引き続きあり、東郷湖の活性化やドラゴンカヌー事業に資するための施設として適正な維持管理が実施できた。

6. 財源の説明
【一般財源】425千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	281	281	25 寄附金		
11 役務費	56	56	26 公課費		
12 委託料	88	88	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	425	425

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010101202	ドラゴンカヌー艇庫施設使用料		1

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 013000000事業 カヌー艇庫管理事業

49

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	08	同和対策費

所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
大	0122	解放同盟支部活動費　（簡略番号：005941）
中		
小		
細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	民－社会福祉費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		155	155		155	145
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	155	155		155	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
同和問題の早期解決のために支部が行う大会参加、研修会、学習会等の活動に対し、円滑に実施できるよう交付する補助金である。
【事業の必要性】
各種研修会へ参加し同和問題の現状、課題等を知り部落差別の解消や課題解決に資する活動を行っていくために必要である。

2. 根拠法令
部落解放同盟支部活動費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
【湯梨浜町あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題
SDGs　目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
部落問題の早期解決に資することができる。
【令和6年度評価】
人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会をはじめ、他の大会に支部として参加できたため、その成果を総会等で報告することで課題等を共有していくことができた。また、人権・同和教育講座を開催していきたい。

6. 財源の説明
【一般財源】155千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	155	155
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	155	155

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	09	隣保館運営費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
	大	0010	隣保館管理運営経常経費　（簡略番号：006015）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	民ー社会福祉費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,827	1,596	231	1,917	1,761
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	878	1,500	△622	1,500	
	地方債					
	その他	2	2		2	
	一般財源	947	94	853	415	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
文化会館事業として行う啓発事業、伝統文化の教室、交流促進のためのものづくり教室等に係る講師謝金及び施設の適切な維持管理に係る経費である。
【事業の必要性】
対象地域住民とその近隣地域住民に対し住民交流の拠点として供し、福祉・文化・生活の向上を図り、併せて同和問題解決のための啓発の拠点として事業を展開するため必要である。

2. 根拠法令
社会福祉法、隣保館施設運営（通知）
湯梨浜町立隣保館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
同和問題に対する理解や住民交流が促進され、また福祉・文化・生活の向上や同和問題の速やかな解決に資することができる。
【令和6年度評価】
隣保館の運営に必要な維持管理を適正に行うとともに、ものづくり教室などの事業をとおして住民交流を促進することができた。

6. 財源の説明
【使 用 料】 2千円（文化会館使用料）
【県補助金】878千円（隣保館運営補助金）
【一般財源】947千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	13	13	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	2	2	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,262	1,262	25 寄附金		
11 役務費	254	254	26 公課費	9	9
12 委託料	251	251	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	36	36	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,827	1,827

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020201010	隣保館運営費補助金	878	1,500
使用料	13010202002	文化会館使用料	2	2

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県隣保館運営費等補助金				
補助基本額	1,171	補助率	75.0%	補助金額	878

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

03款 01項 09目 001000000事業 隣保館管理運営経常経費

79

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	09	隣保館運営費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
大	0011	隣保館管理運営臨時経費	（簡略番号：006057）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	民ー社会福祉費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
文化会館施設の適切な維持管理に係る修繕料
文化会館外壁のｼｰﾘﾝｸﾞの劣化により修繕を行うもの
。
【事業の必要性】
地域住民とその近隣地域住民の交流の拠点である文化会館施設の適切な維持管理を実施し、来館者に良好な状態で施設を提供するため。

2. 根拠法令
社会福祉法、隣保館施設運営（通知）、湯梨浜町立隣保館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（人権教育の充実）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
【あらゆる差別をなくする総合計画】部落の完全解放の実現

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
施設利用者が安全に活動することができる。
【令和6年度評価】
隣保館の運営に必要な維持管理を適正に行った。

6. 財源の説明
【地 方 債】1,700千円（過疎対策債　充当率100%　交付税措置率70%）
【一般財源】　38千円

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,738	6,314	△4,576	6,314	84
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	1,700	6,200	△4,500	6,200	
	その他					
	一般財源	38	114	△76	114	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,738	1,738	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,738	1,738

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010203008	過疎対策事業債(隣保館管理運	1,700	6,200

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	09	隣保館運営費

所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課（人権

事業			
大	0023	部落解放文化祭事業	（簡略番号：006100）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	民－社会福祉費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		109	106	3	106	106
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	109	106	3	106	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
　同和問題の解決のための啓発や地域との交流を行うため、住民の作品展示、ステージ発表など湯梨浜町部落解放文化祭を実施するための必要経費である。
【事業の必要性】
　部落解放に向けて育まれてきた伝統文化や年間を通して取り組まれてきた地区内の諸団体の活動などの成果発表の場及び町内関係団体の参画により部落解放への理解を深める場として必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり（人権教育の充実）
【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題
SDGs　目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
　各種の学習成果を発表することで地域住民及び周辺住民との交流が図られ、差別解消に向けた効果が期待される。
【令和6年度事業評価】
　アフターコロナとして、5年ぶりの東郷小PTAによる読み聞かせなど。今年もステージ発表やバザーで盛り上がった。また、東郷地域の各こども園、保育園、東郷小学校、町内各種団体等の表現、創作活動などの作品展示により、地域の文化に触れるとともに人権意識の向上につながった。

6. 財源の説明
【一般財源】109千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	90	90	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	19	19	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	109	109

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

79

03款 01項 09目 002300000事業 部落解放文化祭事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	児童館費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
	大	0010	田畑児童館管理運営経常経費　（簡略番号：007187）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	民－児－その他		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
遊びの提供などを主に行い、児童の健全育成に資するため児童厚生員を配置し事業を行う。会計年度任用職員（児童厚生員）1名分の報酬及び施設の光熱水費及び修繕等の維持管理費及び音楽リズム遊び、おはなし会等の講師謝礼、Jパラダイスの教材費など事業実施経費である。
【事業の必要性】
健全な遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにするため。

2. 根拠法令
児童福祉法
湯梨浜町立児童館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
児童の健康増進と情操の豊かさが図られる。
【令和6年度事業評価】
可能な限り児童を対象に創作活動や運動あそびなどにより、子どもの自主性や社会性を身につけさせることができた。また、未就学児対象の「音楽リズム遊び」、「おはなし会」により子どもの運動能力や情操を高めることができた。

6. 財源の説明
【諸 収 入】　3千円（児童館事業参加費）
【一般財源】3,883千円

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		3,886	3,443	443	3,841	2,992
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	3	3		3	
	一般財源	3,883	3,440	443	3,838	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,101	2,101	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	795	795	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	520	520	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	27	27	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	54	54	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	360	360	25 寄附金		
11 役務費	29	29	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	3,886	3,886

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302495	児童館事業参加者負担金	3	3

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

99

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	児童館費

所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
大	0015	浜児童館管理運営経常経費	（簡略番号：007261）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	民－児－その他		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		6,202	6,004	198	6,633	4,871
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他				459	
	一般財源	6,202	6,004	198	6,174	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
館長、児童厚生補助員2名、代替職員3名の給与等、施設の光熱水費及び建物共済等の維持管理費並びにわくわくタイム(イベント事業)などの事業に要する経費。

【事業の必要性】
健全な遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにするため。
遊具の安全を確保し、児童が安心して過ごせる環境を整える。

2. 根拠法令
児童福祉法
湯梨浜町立児童館の設置及び管理に関する条例、管理運営に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画】部落の完全解放の実現
SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
児童の健康増進と情操の豊かさが図られる。
【令和6年度評価】
児童の豊かな情操と健全なる心身の育成増進を図ることができた。
来館者数　R4　1,514人
R5　2,357人
R6　1,973円(11月末時点)

6. 財源の説明
【一般財源】6,202千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	4,055	4,055	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	1,147	1,147	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	505	505	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	8	8	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	136	136	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	271	271	25 寄附金		
11 役務費	62	62	26 公課費		
12 委託料	18	18	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	6,202	6,202

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			100

03款 02項 05目 001500000事業 浜児童館管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農業施設管理費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0150	はわいトレーニングセンター管理経常経費	（簡略番号：010264）
中			
小			
細			

事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農－業－農業農村整備		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,144	1,096	48	2,007	710
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	237	244	△7	244	
	一般財源	907	852	55	1,763	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
施設の光熱水費、建物共済等の維持管理費。
需用費　消耗品費、光熱水費、修繕料
役務費　モップ交換、建物災害共済
委託料　消防用設備点検、清掃委託

【事業の必要性】
町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として維持管理することが必要。

2. 根拠法令
湯梨浜町農林漁業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例・施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】 良好な施設の提供が図られる。
【令和6年度評価】
町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として定期的な点検、整備、清掃等、維持管理を実施し良好な施設提供に努めた。
・年間利用件数（見込） 607件（定期利用団体13団体、その他一般利用）
・年間利用者数（見込） 7,030人

6. 財源の説明
【使 用 料】 237千円（トレーニングセンター使用料）
【一般財源】 907千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	985	985	25 寄附金		
11 役務費	61	61	26 公課費		
12 委託料	98	98	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,144	1,144

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010301202	農林漁業者トレーニングセンタ	237	244

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 06目 015000000事業 はわいトレーニングセンター管理経常経費

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農業施設管理費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
	大	0151	はわいトレーニングセンター管理臨時経費　（簡略番号：029899）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分	単独事業	目的区分	農－業－農業農村整備		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		11,628		11,628		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	10,000		10,000		
	その他					
	一般財源	1,628		1,628		

【事業概要】

1．事業の概要と必要性
【事業の概要】
利用者の安全及び利便性を向上するため施設の修繕改修を行う。
・スロープ及び階段の段差補修
・照明のLED交換

【事業の必要性】
町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として維持管理することが必要。

2．根拠法令
湯梨浜町農林漁業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例・施行規則

3．用地の状況

4．基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5．本年度の計画効果
【計画効果】 良好な施設の提供が図られる。
【令和6年度評価】
町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として定期的な点検、整備、清掃等、維持管理を実施し良好な施設提供に努めた。
・年間利用件数（見込） 607件（定期利用団体13団体、その他一般利用）
・年間利用者数（見込） 7,030人

6．財源の説明
【地 方 債】10,000千円（脱炭素化推進事業債　充当率90%　交付税措置率50%）
【一般財源】1,628千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	367	367	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	11,261	11,261			
15 原材料費			合　計	11,628	11,628

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010603002	脱炭素化推進事業債（体育施設	10,000	

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

122

05款 01項 06目 015100000事業 はわいトレーニングセンター管理臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	07	土木費	項	04	都市計画費	目	03	公園費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0021	東郷運動公園指定管理等経費	（簡略番号：029450）
中			
小			
細			

事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	土－都－公園費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		13,700	13,700		13,700	13,700
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	13,372	8,695	4,677	8,437	
	一般財源	328	5,005	△4,677	5,263	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
東郷運動公園を指定管理者制度により管理・運営を行う。
（期間：令和5年4月から令和10年3月までの5年間）
指定管理者制度は平成22年度から導入しており、今年度は4期目の3年目となる。
指定管理委託料　13,700千円
（事業費）収入　計　17,704千円（施設使用料等　指定管理委託料）
支出　計　17,704千円（人件費　委託費　原材料費　管理費等）
【事業の必要性】
民間事業者の視点・経験を活かして施設の魅力を最大限に活用しながら、大会や合宿等を誘致し利用者の増加を図り、町のｽﾎﾟｰﾂ振興及び観光産業等の活性化を図るため。

2. 根拠法令
湯梨浜町都市公園条例　湯梨浜町東郷運動公園施設の設置及び管理に関する規則
湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画】東郷運動公園を指定管理者制度により管理・運営を行う。
【効果】町のｽﾎﾟｰﾂ振興及びｽﾎﾟｰﾂを拠点とした観光産業等の活性化が図られる。
【令和5年度評価】
コロナが5類へ移行したが、感染予防等に配慮しながら大会や合宿の誘致を行った。
施設利用者数（R6見込）町内者　2,871人　町外者　40,238人　合計　43,109人
（R5実績）　4,009人　30,019人　34,024人）
合宿利用者数（町内旅館宿泊利用者数）（R6見込　延1,264泊　R5実績　延1,040泊）

6. 財源の説明
【繰 入 金】13,372千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【一般財源】　328千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	13,700	13,700	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	13,700	13,700

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	13,372	8,695

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	07	土木費	項	04	都市計画費	目	03	公園費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0022	東郷運動公園管理臨時経費	（簡略番号：030761）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	土－都－公園費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,716	10,949	△9,233	9,844	1,962
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	1,700		1,700	5,700	
	その他					
	一般財源	16	10,949	△10,933	4,144	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
安全かつ計画的な施設の利用を促進するべく、施設管理事務所の修繕を行う。
【事業の必要性】
利用者の安全な利用、円滑な事業実施をするため、適切な維持管理が必要。

2. 根拠法令
湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例　同施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
民間事業者の視点を活かした大会や合宿の誘致などにより利用者並びに宿泊客の増加が図られる。
【令和6年度評価】
施設の設備更新及び管理機器の更新を行い、今後の運動公園の計画的な維持管理・利用者の安全かつ円滑な事業実施に資することができた。

6. 財源の説明
【地 方 債】1,700千円（過疎対策事業債　充当率100%　交付税措置率70%）
【一般財源】　16千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	1,716	1,716			
15 原材料費			合　計	1,716	1,716

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010504008	過疎対策事業債（東郷運動公園	1,700	

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

137

07款 04項 03目 002200000事業 東郷運動公園管理臨時経費

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0010	社会教育総務経常経費　（簡略番号：014855）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		3,338	2,681	657	2,929	1,586
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,338	2,681	657	2,929	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【概　要】
生涯学習・人権推進課が行う社会教育事業推進のため、事務局職員として関係業務を行う会計年度任用職員1人の給与等を計上するもの。
【必要性】
生涯学習・人権推進課が行う事業推進の確実な遂行のために、人的措置が必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【計画】
社会教育計画実施事業を行う。
【効果】
社会教育事業全般にかけて、着実な事業実施が図られる。
【令和6年度評価】
社会教育全般の事務補助により円滑な事業・事務の遂行が図れた。

6. 財源の説明
【一般財源】3,338千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,056	2,056	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	789	789	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	460	460	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	21	21	25 寄附金		
11 役務費	12	12	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	3,338	3,338

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

156

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0012	二十歳のつどい開催費	（簡略番号：014874）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		585	498	87	504	558
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	585	498	87	504	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
令和8年二十歳のつどい（平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの町内在住者または町内小中学校卒業生、約191人を対象に令和8年1月3日ハワイアロハホールで実施予定）に要する経費。
（主なもの）
報償費（託児謝金）
需用費（記念品代、しおり印刷、生花等）
役務費（郵便代）
委託料（記念写真代）
【事業の必要性】
20歳という年齢は、飲酒や喫煙を含めすべての年齢制限がなくなる節目の年齢であり、自分に責任を持つことのできる自立した社会人として成長した青年を町全体で祝い励まし、なつかしい仲間と顔を合わせることで、ふるさとへの愛着を育む機会とする。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
191人を対象に令和8年1月3日ハワイアロハホールで「二十歳のつどい」を開催する。
【事業の効果】
20歳という節目の年に、自分に責任を持つことのできる社会人として成長した青年を祝い励ます会を開催し、懐かしい仲間と会うことで、ふるさとへの愛着を育むことができる。
【令和6年度事業評価】
令和7年二十歳のつどいを令和7年1月3日に開催した。

6. 財源の説明
【一般財源】 585千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	5	5	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	217	217	25 寄附金		
11 役務費	44	44	26 公課費		
12 委託料	319	319	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	585	585

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

156

09款 04項 01目 001200000事業 二十歳のつどい開催費

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0014	家庭・地域教育推進事業	（簡略番号：014891）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		426	426		347	242
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	272	284	△12	220	
	地方債					
	その他					
	一般財源	154	142	12	127	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
町教育委員会が推進する「湯梨浜町子育て・親育ち10か条」の啓発、家庭教育講座の開催、家庭教育支援チームによる地域の居場所づくりや保護者同士の交流を行う。
【事業の必要性】
家庭教育支援チームによる遊びの場の提供や子育て講座を行うことで、地域の居場所づくりや保護者同士の交流、学習機会の提供を図ることができる。また、「基本的な生活習慣」「規範意識」等社会生活での基礎を家庭で身につけるための家庭教育について意識啓発を図る必要がある。

2. 根拠法令
社会教育法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
家庭教育支援チームによる月1回の遊びの場の提供と年4回の子育て講座、子ども会育成者に対する家庭教育講座、「湯梨浜町子育て・親育ち10か条」の啓発
【事業の効果】
家庭教育支援チームによる遊びの場の提供や子育て講座により、地域の居場所づくりや保護者同士の交流、学習機会の提供を図ることができる。また、家庭教育についての意識啓発及び町教育委員会が推進する「湯梨浜町子育て・親育ち10か条」の啓発が図られる。
【令和6年度事業評価】
月1回の遊びの場の提供をすることで地域の居場所づくりを推進することができた。また、子育て講座など学習機会を提供することができた。

6. 財源の説明
【県補助金】272千円　学校・家庭・地域連携協力推進事業(家庭教育支援基盤構築事業)
【一般財源】154千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	401	401	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	2	2	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	23	23	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	426	426

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803422	学校家庭地域連携協力推進事業	272	284

【補助金】

補助金等の名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				
補助基本額	409	補助率	66.6%	補助金額	272

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0205	町女性団体連絡協議会補助金	（簡略番号：015226）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		243	243		243	243
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	243	243		243	

【事業概要】

1．事業の概要と必要性
【事業概要】
町内の各種女性団体で構成する、湯梨浜町女性団体連絡協議会の運営に要する経費の補助を行う。
主な活動：女性フォーラムの開催、広報紙「白鳥」作成、クリーン活動、国際交流、
視察研修、町長と語る会
補助金　243,000円

【事業の必要性】
町内女性の資質向上と地域社会の発展に寄与するため。

2．根拠法令
社会教育法

3．用地の状況

4．基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標5「ジェンダー平等を実現しよう」

5．本年度の計画効果
【本年度の計画】
女性フォーラムの開催、広報紙「白鳥」の作成、町事業等への協力、各支部の活動、視察研修、町長と語る会など
【事業の効果】
町内女性の活動支援と地域社会の発展に資することができる。
【R6年度事業評価】
町女性団体主催の女性フォーラム、町事業への協力、広報紙「白鳥」の作成及び各種研修活動を支援することで、女性の地域社会での活躍を推進することができた。

6．財源の説明
【一般財源】243千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	243	243
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	243	243

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 020500000事業 町女性団体連絡協議会補助金

157

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業				
大	0208	全国大会等派遣補助金	（簡略番号：015234）	
中				
小				
細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3.31	新規・継続	継続	臨・経　臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定	
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費	

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		400	400		400	460
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	400	400		400	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
スポーツ又は文化に係る全国規模の大会に参加する選手・演奏者・指導者等に対し、参加費・交通費、宿泊費を補助対象経費として、補助金の交付を行う。
補助金　400,000円（全国大会出場　補助率1/2　上限額20,000円　20人予定）

【事業の必要性】
本町社会教育及び社会体育の振興発展に寄与するため。
全国規模の大会に出場する者の経済的負担を軽減し、町として応援、支援するため。

2. 根拠法令
湯梨浜町全国大会等派遣補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
大会へ参加する者の経済的負担を軽減し、大会等に参加しやすい環境整備を図ることで本町社会教育及び社会体育の振興発展に資することができる。
【令和6年度評価】
小、中学生を中心に3競技、7名の全国大会出場者に対し補助金を交付し大会等に参加しやすい環境整備を図ることができた。(11月末時点)
令和6年度末　見込　8競技　21名　400千円　　R5年度　7競技　23名
R4年度　8競技　32名

6. 財源の説明
【一般財源】 400千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	400	400
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	400	400

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 020800000事業 全国大会等派遣補助金

157

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	01	社会教育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0211	放課後こども教室推進事業	（簡略番号：040369）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,927	2,855	△928	1,321	1,175
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	1,284	1,903	△619	880	
	地方債					
	その他					
	一般財源	643	952	△309	441	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
町内で放課後子ども教室を開設する。東郷地域2箇所（舎人・大介）、羽合地域2箇所（長瀬・橋津）、泊地域1箇所（宇谷）の計5教室に加え、田後地域での放課後子ども教室の開設を進めている。各教室に学習アドバイザー、安全管理員を配置して取り組む。
事業に係る経費の2/3が県補助金。
【事業の必要性】
公民館等を活用し、子ども達の安全な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等の取組みを行い、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために実施する。

2. 根拠法令
社会教育法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
東郷地域2箇所（舎人・大介）、羽合地域2箇所（長瀬・橋津）、泊地域1箇所（宇谷）の計5教室を開設する。また、田後地域での放課後子ども教室の開設を進める。
【事業の効果】
子ども教室の開設を行い、活動拠点（居場所）の確保、放課後等の学習指導、自然体験活動支援、文化活動支援など子ども達の放課後活動の充実とともに、地域社会全体で様々な教育支援活動の実施により、地域の教育力の向上が図られる。
【R6年度評価】
5教室で放課後等の見守りや学習支援の環境作り・体験活動の充実を図ることができた。

6. 財源の説明
【県補助金】 1,284千円（学校・家庭・地域連携協力推進事業：放課後子ども教室）
【一般財源】　643千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	1,764	1,764	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	138	138	25 寄附金		
11 役務費	25	25	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,927	1,927

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803030	学校家庭地域連携協力推進事業	1,284	1,903

【補助金】

補助金等の名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				
補助基本額	1,927	補助率	66.6%	補助金額	1,284

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 021100000事業 放課後こども教室推進事業

157

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0010	中央公民館管理運営経常経費	（簡略番号：015325）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		12,044	9,812	2,232	10,349	10,233
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	746	742	4	742	
	一般財源	11,298	9,070	2,228	9,607	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
施設の保守点検及び修繕、警備員等賃金、施設の光熱水費等の維持管理費
利用者への良好な施設提供をするための備品購入費等
【事業の必要性】
生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に施設を提供するため。
【全体事業費】12,044千円

2. 根拠法令
社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】
志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
　　目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【計画】施設の維持管理を行う。
【効果】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。
【令和6年度評価】
施設の保守点検や修繕等維持管理を行い、社会教育活動の場所及び地域の拠点施設として、多くの利用者に良好な施設の提供を行った。

6. 財源の説明
【使 用 料】　548千円（中央公民館使用料）
【諸 収 入】　179千円（中央公民館雑入）
【諸 収 入】　19千円（自動販売機電気使用料）
【一般財源】11,298千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,442	3,442	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	1,309	1,309
03 職員手当等	795	795	18 負担金、補助及び交付金	6	6
04 共済費	506	506	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	48	48	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,687	2,687	25 寄附金		
11 役務費	716	716	26 公課費		
12 委託料	1,961	1,961	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	574	574	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	12,044	12,044

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602001	中央公民館使用料	548	547
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	179	177
諸収入	20050302474	自動販売機使用電気料（中央公	19	18

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0011	中央公民館管理運営臨時経費	（簡略番号：015371）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		759	334	425	600	25,300
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	600		600		
	その他					
	一般財源	159	334	△175	600	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
中央公民館の高圧引き込みケーブル等の更新工事を施工し、施設利用者の安全安心・利便性を図る。
【事業の必要性】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に施設を提供する。
【全体事業費】759千円

2. 根拠法令
社会教育法，湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】
志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
　　目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
中央公民館施設整備事業　　759千円
【事業の効果】
生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。
【令和6年度評価】
老朽化した施設を必要な修繕等を行い、社会教育活動の場として，利用者に良好に提供するための安全管理に努めた。

6. 財源の説明
【地 方 債】600千円
（公共施設等適正管理推進事業債　充当率90%　交付税措置率50%）
【一般財源】159千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	759	759			
15 原材料費			合　計	759	759

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010602009	公共施設等適正管理推進事業債	600	

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

159

09款 04項 02目 001100000事業 中央公民館管理運営臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費	所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
	大	0014	中央公民館全体事業　（簡略番号：033666）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,133	1,053	80	874	899
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,133	1,053	80	874	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
60歳以上の町民を対象とした「湯梨浜文化大学」や「囲碁・将棋大会」、「ゆりはま文化芸能祭（住民作品展・芸能大会）」等を実施し、住民参加による事業の推進とコミュニティ形成の支援を行う。
【事業の必要性】
町民全体を対象とした教育や文化に関する各種事業を実施し、住民の交流や文化の向上等を図るため必要である。
【全体事業費】1,133千円

2. 根拠法令
社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】
志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
　　目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
湯梨浜文化大学…全体学習及び趣味コース（グラウンド・ゴルフ等）の開催。
ゆりはま文化芸能祭…文化芸能の発表の場として、住民作品展・芸能大会を開催。
囲碁・将棋大会…囲碁・将棋の愛好者を募り年1回開催する。
【令和6年度評価】
湯梨浜文化大学（会員数245人）
住民作品展（11/13～11/19開催 622人 733点出展）
芸能大会（11/17開催　27団体 161人出演）
囲碁・将棋大会（8/4開催 10人参加）

6. 財源の説明
【一般財源】1,133千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	929	929	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	100	100	25 寄附金		
11 役務費	104	104	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,133	1,133

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0016	東郷地域各種事業	（簡略番号：015379）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		6,658	5,839	819	5,179	3,004
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,658	5,839	819	5,179	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
社会教育を充実させるため，地域活性化推進員と連携し，中央公民館を拠点として東郷地域を対象とした教室や講座，講演会等を実施し，町民に学習の場を提供する。
東郷地域公民館運営委員会を開催し，各種事業の企画実施について協議・検討を行う。
地域活性化推進員4人，成人教育36回，家庭・青少年教育6回，体育・レクリエーション9回　出前講座　4地区×4回
【事業の必要性】
町民のニーズを把握しながら実生活に即した教育や文化等に関する各種事業を実施し，もって住民の教養や交流促進を図るため。
【全体事業費】6,658千円

2. 根拠法令
社会教育法，湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】
志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
成人教育…伝統文化の継承や心豊かにする趣味講座、健康教室等楽しく学習する。
家庭・青少年教育…家庭教育や自然体験等を実施し、地域で青少年を育てる。
体育・レクリエーション…誰でも気軽に参加できるスポーツ教室等を開催する。
出前講座…各地区において、各種講座等を開催し、地域住民の交流促進を図る。
【事業の効果】住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。
【令和6年度評価】住民の関心が高い「健康」や「趣味」などを中心とした事業を実施し、各教室及び各講座を開催し社会教育の充実を図った。

6. 財源の説明
【一般財源】6,658千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	4,258	4,258	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	1,633	1,633	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	24	24	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	622	622	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	38	38	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	66	66	25 寄附金		
11 役務費	17	17	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	6,658	6,658

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

159

09款 04項 02目 001600000事業 東郷地域各種事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0032	文化団体協議会等補助金	（簡略番号：015422）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		472	422	50	422	382
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	105	100	5	100	
	地方債					
	その他					
	一般財源	367	322	45	322	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
加盟文化サークル等の活動に要する費用の助成、加盟団体相互の学習、会員拡大事業、住民作品展・芸能大会の開催、協議会たよりの発行を行うものである。
【事業の必要性】
地域における文化の振興育成、普及、向上並びに各種文化団体相互の連携と親睦を図り地域の文化発展に寄与する。
【全体事業費】 472千円

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】
志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
ゆりはま文化芸能祭の開催予定（住民作品展11/12～11/18、芸能大会11/16）
協議会だよりの発行（3月予定）　会員研修（年2回予定）
【事業の効果】
地域の文化団体の活動を支援することにより、住民の社会参加、文化振興に寄与することができる。
【令和6年度評価】
各サークル等の日頃の活動の発表の場として、ゆりはま文化芸能祭実施することにより、地域の文化発展に寄与することができた。
会員拡大促進事業を実施し協議会の活性化を図った。R6.7時点　37団体

6. 財源の説明
【県支出金】 105千円（市町村創生交付金）
【一般財源】 367千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	472	472
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	472	472

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	105	
都道府県支出金	15020803210	市町村創生交付金（文化団体協		100

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	472	補助率		補助金額	105

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0110	羽合分館管理運営経常経費	（簡略番号：015455）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		8,525	7,322	1,203	7,649	6,524
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	345	424	△79	424	
	一般財源	8,180	6,898	1,282	7,225	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
会計年度任用職員・警備員報酬並びに施設の光熱水費及び館内清掃・修繕などの維持管理費。
【事業の必要性】
生涯学習及び社会教育の拠点として良好に施設を提供するため。
【全体事業費】8,525千円

2. 根拠法令
社会教育法，湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】施設の維持管理を行う。
【事業の効果】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。また，町民が集いやすい施設として，コミュニティー機能を強化する。
【令和6年度評価】施設の保守点検や修繕等維持管理を行い，社会教育活動の場所及び地域の拠点施設として，多くの利用者に良好な施設の提供を行うことができた。

6. 財源の説明
【使 用 料】 294千円（中央公民館羽合分館使用料）
【諸 収 入】 51千円（中央公民館雑入）
【一般財源】8,180千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,276	3,276	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	368	368
03 職員手当等	795	795	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	505	505	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	63	63	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,186	2,186	25 寄附金		
11 役務費	194	194	26 公課費	7	7
12 委託料	1,011	1,011	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	120	120	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	8,525	8,525

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602201	中央公民館羽合分館使用料	294	354
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	51	70

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

160

09款 04項 02目 011000000事業 羽合分館管理運営経常経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0111	羽合分館管理運営臨時経費　（簡略番号：015487）
中		
小		
細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		11,063	464	10,599	464	1,693
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	9,600		9,600		
	その他					
	一般財源	1,463	464	999	464	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
①多目的トイレの取替を行う。
②廊下及びトイレのエアコンが室外機の老朽化により作動せず，近年の高温化で熱中症などの危険性があるため，エアコンの取替工事を行う。
【事業の必要性】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に施設を提供する。
【全体事業費】11,063千円

2. 根拠法令
社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
①多目的トイレを改修し利用者が快適に使用できるよう，修繕を行う。
②廊下及びトイレのエアコンが室外機の老朽化により作動せず，近年の高温化で熱中症などの危険性があるため，エアコンの取替工事を行う。
【事業の効果】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。
【令和6年度評価】
①多目的室のエアコン修繕を行い，良好な施設提供ができた。

6. 財源の説明
【地 方 債】9,600千円
（公共施設等適正管理推進事業債　充当率90%　交付税措置率50%）
【一般財源】1,463千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	294	294	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	10,769	10,769			
15 原材料費			合　計	11,063	11,063

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010602009	公共施設等適正管理推進事業債	9,600	

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 011100000事業 羽合分館管理運営臨時経費

160

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0116	羽合地域各種事業	（簡略番号：015506）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		11,376	9,686	1,690	10,421	6,232
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	11,376	9,686	1,690	10,421	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
羽合地域の社会教育・生涯学習を充実させるため，中央公民館羽合分館を拠点として地域活性化推進員と連携し，各種の教室や講座・講演会等を実施し，町民に学習の場を提供する。
活性化推進員7人，成人教育34回，家庭・青少年教育17回，体育・レクリエーション26回，出前講座28回。
【事業の必要性】地域・町民のニーズを把握しながら，教育や文化に関する各種事業を実施し，教養を養ったり地域住民の交流促進を図るものである。
【全体事業費】11,376千円

2. 根拠法令
社会教育法，湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
成人教育：心豊かにする趣味講座，健康教室など楽しく学習する。
家庭・青少年教育：体験学習，自然体験などを実施し，地域で青少年を育てる。
体育・レク：誰でも気軽にできるスポーツ，健康教室などを開催する。
出前講座：各地区において各種講座などを実施し，地域住民の交流促進を図る。
【事業の効果】住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。
【令和6年度評価】コロナも5類に移行し，コロナ前の状態に戻りつつあり，住民の関心度の高い「健康」「趣味」等を中心とした事業を実施し，社会教育の充実が図られた。

6. 財源の説明
【一般財源】11,376千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	7,451	7,451	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	2,857	2,857	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	42	42	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	857	857	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	69	69	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	81	81	25 寄附金		
11 役務費	19	19	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	11,376	11,376

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 011600000事業 羽合地域各種事業

160

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0210	泊分館管理運営経常経費	（簡略番号：015595）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		11,160	10,363	797	10,808	8,449
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	231	262	△31	262	
	一般財源	10,929	10,101	828	10,546	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
泊分館での公民館事業を行い、社会教育活動の拠点として施設の利用提供を行う。
会計年度任用職員、警備員報酬、光熱水費、警備委託や清掃委託などの維持管理経費。
【事業の必要性】
生涯学習及び社会教育の拠点として良好に施設を提供する。
【全体事業費】11,160千円

2. 根拠法令
社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)
SDGs　目標4 「質の高い教育をみんなに」
　　目標11 「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
泊地域の生涯学習及び社会教育の拠点施設として、公民館活動を展開及び推進する。
【事業の効果】
生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。また、町民が集いやすい施設として、コミュニティー機能を強化する。
【令和6年度評価】
泊分館で公民館事業を実施し、社会教育活動の場所及び、地域の拠点施設として、利用者に良好な施設の提供を行うことができた。

6. 財源の説明
【使 用 料】　124千円(中央公民館泊分館使用料)
【諸 収 入】　86千円(中央公民館雑入)
【諸 収 入】　12千円(泊体育館自動販売機電気使用料)
【諸 収 入】　9千円(中央公民館泊分館自動販売機電気使用料)
【一般財源】10,929千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	4,288	4,288	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	168	168
03 職員手当等	795	795	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	510	510	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	125	125	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,600	2,600	25 寄附金		
11 役務費	326	326	26 公課費		
12 委託料	1,857	1,857	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	491	491	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	11,160	11,160

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602402	中央公民館泊分館使用料	124	140
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	86	101
諸収入	20050302473	自動販売機使用電気料(泊体育	12	13
諸収入	20050302475	自動販売機使用電気料(中央公	9	8

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0211	泊分館管理運営臨時経費	（簡略番号：015646）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	新規	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		312	125	187	598	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	312	125	187	598	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
泊分館調理室の流し台の水道を単水栓から混合栓に取替を行う。
【事業の必要性】
泊分館調理室の流し台の一部が単水栓でお湯が出ないため、調理や皿洗い等不便で特に冬場は水が冷たいため、利用者の利便性の向上を図る必要がある。

2. 根拠法令
社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)
SDGs　目標4 「質の高い教育をみんなに」
　　目標11 「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
泊分館調理室の流し台の水道を単水栓から混合栓に取替を行う。
【事業の効果】
泊分館の調理室利用者の利便性の向上が見込まれる。

6. 財源の説明
【一般財源】 312千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	312	312			
15 原材料費			合　計	312	312

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

161

09款 04項 02目 021100000事業 泊分館管理運営臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費

所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
大	0212	泊地域各種事業	（簡略番号：015658）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,903	1,664	239	1,844	1,267
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,903	1,664	239	1,844	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
社会教育の充実及び地域コミュニティーを高めていくため、泊分館を拠点に泊地域における各種の教室や講座、講演会等を実施するものである。活性化推進員1人。
成人教育23事業(26回)、家庭・青少年教育5事業(5回)、体育・レク事業16事業(18回)、出前講座4回。
【事業の必要性】
実生活に即した教育や文化に関する各種事業を実施し、もって住民の教養や地域住民の交流促進を図るものである。
【全体事業費】1,903千円

2. 根拠法令
社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例。

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」
　　目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
地域活性化推進員、公民館運営委員と連携し、さらなる事業推進と活性化を図る。
・成人教育:心豊かにする講座等楽しく学習する。
・家庭・青少年教育:自然体験などを実施し、地域の青少年を育てる。
・体育・レク:誰でも気軽にできるスポーツ教室等を開催する。
【事業の成果】
住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。
【令和6年度評価】
住民の関心度の高い趣味等を中心とした事業を実施し、社会教育の充実が図られた。

6. 財源の説明
【一般財源】1,903千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,065	1,065	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	409	409	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	6	6	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	368	368	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	3	3	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	39	39	25 寄附金		
11 役務費	13	13	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,903	1,903

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	02	公民館費	所属	0101012800-0000	中央公民館

事業			
	大	0264	湯梨浜みんなのげんき館事業　（簡略番号：043358）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		20,780	22,689	△1,909	18,713	8,888
財源内訳	国庫支出金		7,034	△7,034	6,386	
	県支出金					
	地方債					
	その他	906	925	△19	994	
	一般財源	19,874	14,730	5,144	11,333	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】 町民一人一人が日常的に適度な運動を習慣づけるきっかけとして、湯梨浜みんなのげんき館のトレーニング器具を活用し、子ども、働く世代、女性そして高齢者まで幅広い世代の町民に運動・スポーツに参加できる機会を提供する。
【事業の必要性】フレイル予防など気軽に運動・スポーツに親しむことのできる環境を整備し、各種運動教室等の参加者を増やすことで、スポーツを通して生活習慣病の克服と健康寿命の延伸を目指す。
【事業の内容】(主なもの)
・運動指導員報酬、協力隊活動費等　　・運動教室等の開催
・スタジオプログラムの実施　　・町民スポーツ活動支援事業補助金
・「スポーツの日」及び「スポーツに親しむ日」イベント開催

2. 根拠法令
湯梨浜みんなのげんき館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画】湯梨浜みんなのげんき館の活用、「ゆりはまスポーツの日」の開催などを行う。
【効果】運動・スポーツの習慣化を促進し健康課題の解決に向けた全町的な取り組みにつなげることができる。
【令和6年度評価】湯梨浜みんなのげんき館を開館し、運動・スポーツに親しむ環境を提供することができた。スタジオプログラム事業を実施しマシントレーニング以外のトレーニングメニューを増やし町民の運動・スポーツ習慣化を促進した。

6. 財源の説明
【 使 用 料 】　835千円(げんき館使用料)
【 諸 収 入 】　71千円(げんき館雑入　教室参加費等)
【 一般財源 】19,874千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,530	2,530	16 公有財産購入費		
02 給料	4,533	4,533	17 備品購入費		
03 職員手当等	2,707	2,707	18 負担金、補助及び交付金	1,871	1,871
04 共済費	1,791	1,791	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	356	356	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	107	107	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	591	591	25 寄附金		
11 役務費	31	31	26 公課費		
12 委託料	5,553	5,553	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	710	710	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	20,780	20,780

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101247	デジタル田園都市国家構想交付		7,034
使用料	13010602411	湯梨浜みんなのげんき館使用料	835	747
諸収入	20050302699	湯梨浜みんなのげんき館雑入	71	178

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 026400000事業 湯梨浜みんなのげんき館事業

162

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	03	図書館費

所属	0101012900-0000	図書館

事業			
大	0001	図書館経常経費	（簡略番号：015795）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		24,055	18,511	5,544	19,276	17,264
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	3	4	△1	4	
	一般財源	24,052	18,507	5,545	19,272	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
町立図書館の運営・維持管理に要する経費
報酬等　　会計年度任用職員に係る経費
需用費　　雑誌購入、光熱水費、修繕費
役務費　　電話代、インターネットサービス利用料
賃借料　　図書館システム使用料
備品購入費　図書購入
【事業の必要性】
社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料などの資料・情報提供や、町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため、また、青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。

2. 根拠法令
湯梨浜町立図書館設置条例、湯梨浜町立図書館管理運営規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次町総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
町民の学習意欲を促進し、豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめ住民の読書活動の促進が図られる。
【令和6年度評価】□
利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。□
町立図書館の一般利用者数 11,760人　一般貸出冊数 45,762冊（R6.10月末現在）

6. 財源の説明
【諸 収 入】　3千円（コピー代：図書館）
【一般財源】24,052千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	6,813	6,813	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	5,000	5,000
03 職員手当等	2,541	2,541	18 負担金、補助及び交付金	28	28
04 共済費	1,636	1,636	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	280	280	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,934	2,934	25 寄附金		
11 役務費	989	989	26 公課費		
12 委託料	835	835	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	2,999	2,999	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	24,055	24,055

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302490	コピー代（図書館）	3	4

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	03	図書館費

所属	0101012900-0000	図書館

事業			
大	0002	図書館臨時経費	（簡略番号：015829）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,478	2,427	△949	2,574	2,333
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,478	2,427	△949	2,574	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
町立図書館の維持管理のため修繕等を行う
図書館照明LED交換
箱樋雨漏り修繕
【事業の必要性】
図書館利用者に安心・安全な施設を提供するため

2. 根拠法令
湯梨浜町立図書館設置条例、管理運営規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学ぶ明日を拓くひとづくり（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
図書館設備の安全で安定した整備、効率的な施設管理を行い、利用者に良好な空間を提供できる。
【令和6年度評価】
非常通報装置設置、照明灯修繕等により、利用者に良好な施設環境を提供することができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 1,478千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	1,478	1,478			
15 原材料費			合　計	1,478	1,478

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 03目 000200000事業 図書館臨時経費

164

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	03	図書館費

所属	0101012900-0000	図書館

事業			
大	0114	羽合図書室経常経費	（簡略番号：015878）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		5,403	4,601	802	5,079	4,108
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,403	4,601	802	5,079	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
新聞・雑誌購入費及び図書検索システム保守経費並びに会計年度任用職員(1名)報酬、光熱水費及び建物共済等の施設の維持管理費。
【事業の必要性】
社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料など必要な資料・情報を提供し、町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため及び青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。
【事業の内容】
報酬等　会計年度任用職員
需用費　雑誌・新聞等の購入　光熱水費
賃借料　図書館システム

2. 根拠法令
湯梨浜町羽合図書室利用規程

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめとする住民の読書活動の促進が図られる。
【令和6年度評価】
利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。□
羽合図書室の一般利用者数　R6.10月末現在　3,365人
一般貸出冊数　R6.10月末現在 14,119冊　□

6. 財源の説明
【一般財源】 5,403千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,226	2,226	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	852	852	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	552	552	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	24	24	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	772	772	25 寄附金		
11 役務費	24	24	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	953	953	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	5,403	5,403

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	03	図書館費

所属	0101012900-0000	図書館

事業			
大	0202	しおさいプラザ経常経費	（簡略番号：019973）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		6,892	5,784	1,108	6,133	5,205
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,892	5,784	1,108	6,133	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
新聞・雑誌購入費及び図書検索システム保守経費並びに光熱水費及び建物共済等の施設の維持管理費。
【事業の必要性】
社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料など必要な資料・情報を提供し、町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため及び青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。
【事業の内容】
報酬等　会計年度任用職員1人
需用費　雑誌・新聞等の購入　光熱水費
賃借料　図書館システム

2. 根拠法令
しおさいプラザとまり設置条例、しおさいプラザとまり管理運営規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめとする住民の読書活動の促進が図られる。
【令和6年度評価】□
利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。
しおさいプラザとまり　一般利用者数　R6.10月末現在　2,740人
一般貸出冊数　R6.10月末現在 10,503冊□

6. 財源の説明
【一般財源】6,892千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,226	2,226	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	852	852	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	544	544	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	86	86	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,085	1,085	25 寄附金		
11 役務費	229	229	26 公課費		
12 委託料	504	504	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	1,366	1,366	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	6,892	6,892

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 03目 020200000事業 しおさいプラザ経常経費

165

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	04	青少年育成対策費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0031	青少年育成町民会議補助金　（簡略番号：015915）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		450	450		450	241
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	450	450		450	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
町内の各機関・団体代表で組織する青少年育成湯梨浜町民会議の運営に要する経費の補助。子どもの健全育成、保護者への子育て・家庭教育支援としての研修等を行う。
【具体的な取組み】
青少年育成町民研修会、スタンプラリーハイク、直接体験事業及び子ども会リーダー研修会の開催、夏祭り等における補導、高校生あいさつ・交通マナー運動等を実施。
補助金　450,000円
【事業の必要性】
次世代を担う青少年の健全育成に地域が一丸となって取り組むよう、町内で意識啓発を図り、具体的な取組みを実施するため。

2. 根拠法令
社会教育法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
総会、青少年育成町民研修会、スタンプラリーハイク、ポニー乗馬体験（年2回）、自然観察会、子ども会リーダー研修会の開催、並びに夏祭り等における補導、高校生あいさつ・交通マナー運動を実施する。
【事業の効果】
地域ぐるみで青少年健全育成の取組みを推進することができる。
【令和6年度事業評価】
スタンプラリーハイクや直接体験活動など、親子での参加により家庭教育の推進が図られた。また、登録型の学生ボランティア募集を実施し、町民会議のイベントのみならずさまざまな町のイベントへ中高生の参画が得られた。

6. 財源の説明
【一般財源】 450千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	450	450
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	450	450

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 04目 003100000事業 青少年育成町民会議補助金

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	04	青少年育成対策費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0040	青少年芸術文化事業　（簡略番号：032416）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		150	132	18	123	132
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	150	132	18	123	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
　鳥取県文化振興財団が生の優れた芸術を鑑賞する機会を等しく提供し、豊かな情操を培い、健全な育成に資することを目的として毎年実施している「児童生徒を対象とした文化芸術事業」を活用し、子ども達の感性や情操を育む。
　町内3小学校を対象に、毎年順番に実施。
　委託料　150,000円×1校

【演目等】
　ピアノコンサート、和太鼓、オペラ等

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
　（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
秋ごろに泊小学校で実施予定。
【事業の効果】
　専門家による本物の音楽・演劇・伝統芸能などの芸術に直接触れることにより、町内の子ども達の感性を高め、豊かな人間形成を図る。
【令和6年度事業評価】
12月3日に羽合小学校児童を対象にハワイアロハホールで開催。

6. 財源の説明
【一般財源】 150千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	150	150	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	150	150

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

165

09款 04項 04目 004000000事業 青少年芸術文化事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	05	青少年の家費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業				
大	0210	青少年の家管理経常経費	（簡略番号：015922）	
中				
小				
細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経　経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定	
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費	

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		313	441	△128	441	51
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	313	441	△128	441	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
施設自体は用途廃止したため、使用することはないが、最低限の維持管理が必要。
【事業の必要性】
青少年の家前の階段にある外灯の1年間分の電気料金と建物を解体するまでは建物災害共済の掛金、修繕料が必要。また、周辺の法面の下は通学路になっているため環境整備が必要。

2. 根拠法令
湯梨浜町立青少年の家の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
施設としては使用しないが、最低限の維持管理と周辺の環境整備を行う。
【事業の効果】
外灯の維持管理をすることで階段を安全に使用することができ、また、周辺の環境整備を行うことで安全に通学することができる。
【R6年度事業評価】
青少年の家前の階段にある外灯の維持管理を行った。また、周辺法面の除草を委託し、安全に通える通学路を確保することができた。

6. 財源の説明
【一般財源】313千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	23	23	25 寄附金		
11 役務費	49	49	26 公課費		
12 委託料	241	241	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	313	313

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

166

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	05	青少年の家費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0280	青少年の家管理臨時経費	（簡略番号：015963）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	新規	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,188		1,188		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,188		1,188		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
旧青少年の家周辺法面でR6.12月に倒木があり、その近くの法肩に生えている木も倒木の危険性があるため伐採するもの。
【事業の必要性】
旧青少年の家周辺法面の下は通学路であり、安全性を確保するためにも伐採が必要。

2. 根拠法令
湯梨浜町立青少年の家の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
旧青少年の家周辺法肩に生えている木を伐採する。
【事業の効果】
法肩に生えている木を伐採することで、法面下の通学路の安全性を確保することができる。

6. 財源の説明
【一般財源】1,188千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	1,188	1,188	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,188	1,188

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 05目 028000000事業 青少年の家管理臨時経費

166

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算　　要求時

令和 7年 2月17日　21時15分　作成
作成者:池田　豊具

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0010	文化財保護経常経費	（簡略番号：015978）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		124	190	△66	202	585
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	58	60	△2	56	
	一般財源	66	130	△64	146	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】 郷土に対する理解と愛着を育成するため、歴史講演会、歴史民俗資料館展示解説、文化財見学会、小中学校ふるさと学習、子ども向けの体験事業等を実施する。
・報償費　講師謝金　　・普通旅費　文化庁との協議等
・需用費　資料作成・古代まつり等　　・役務費　郵券料
【事業の必要性】 町の貴重な財産である有形・無形の文化財について周知し、文化財への理解を深めることで、郷土に対する愛着を育成するため。

2. 根拠法令
文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
歴史講演会、歴史民俗資料館展示解説、文化財見学会、小中学校ふるさと学習、公民館との連携事業等の実施。文化財の保存修理等に係る文化庁協議。
【事業の効果】
町内の貴重な文化財について、町民の理解と愛着の促進が図られるとともに、町外者にも町の魅力をPRできる。
【令和6年度事業評価】
長瀬高浜遺跡発見50周年記念特別展示・記念講演会、東郷荘絵図に関する博物館の企画展見学会、歴史民俗資料館展示解説、史跡スタンプラリーハイク、町内学校への出前講座等を実施し、地域の魅力を再発見し、町民の郷土愛を育むことができた。

6. 財源の説明
【繰 入 金】22千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【諸 収 入】36千円（パンフレット等販売）
【一般財源】66千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	32	32	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	60	60	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費	12	12	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	124	124

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	22	37
諸収入	20050302246	「橋津の藩倉」代	5	2
諸収入	20050302247	「長瀬高浜のはにわ」パンフレ	30	20
諸収入	20050302256	「尾崎家住宅建造物調査報告書	1	1

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 001000000事業 文化財保護経常経費

166

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

作成者:池田　豊具　　（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0011	文化財保護臨時経費	（簡略番号：015992）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		176	1,143	△967	1,126	219
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	43	617	△574	604	
	一般財源	133	526	△393	522	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
宇野地区の文化財を総合的に紹介する案内看板を設置する。
工事請負費　176千円
【必要性】
宇野地区は重文尾﨑家住宅・名勝尾崎氏庭園・宇野地蔵ダキなど文化財の宝庫であり、さらにR6年度には安楽寺が新たに県指定保護文化財となった。この機会に本町の貴重な文化財を広くPRし、文化財への理解・関心を高め、今後の保存・活用へとつなげるため。

2. 根拠法令
湯梨浜町文化財保護条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）　SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
宇野地区の文化財案内看板の設置。
【事業の効果】
町の貴重な文化財について町内外の人々に周知し、町の魅力をPRできる。

6. 財源の説明
【繰 入 金】43千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【一般財源】133千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	176	176			
15 原材料費			合　計	176	176

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602203	歴史民俗資料館入館料		270
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	43	147
諸収入	20050302247	「長瀬高浜のはにわ」パンフレ		200

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

166

09款 04項 06目 001100000事業 文化財保護臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
	大	0014	施設管理費　（簡略番号：016009）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		3,428	3,036	392	3,567	2,850
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	1,267	1,080	187	1,138	
	一般財源	2,161	1,956	205	2,429	

【事業概要】

1．事業の概要と必要性
【事業の概要】
町内の文化財関連施設(橋津藩倉（古御倉・片山蔵・三十間北蔵)、長瀬高浜遺跡埴輪収蔵庫、羽衣石城模擬天守、旧岡本邸、トウテイランの里)の適切な維持管理を行う。町内の史跡(北山古墳、羽衣石城跡、橋津古墳群、橋津台場跡、河口城跡、宮内狐塚古墳、橋津藩倉周辺)の草刈などの維持管理を行う。
需用費　一般消耗品、光熱水費、修繕料
役務費　建物災害共済保険料
委託料　羽衣石城管理、史跡草刈、トウテイランの里管理、消防用設備点検
【事業の必要性】
文化財関連施設及び史跡等の適正な維持管理を行うことで、町の貴重な文化財を損なうことなく将来へ伝えていくため。

2．根拠法令
文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例

3．用地の状況

4．基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）　SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5．本年度の計画効果
【本年度の計画】
文化財関連施設の適切な維持管理を行う。国県町指定史跡等の環境を整備する。
【事業の効果】
文化財関連施設や史跡等の維持管理・環境整備を適切に行い、いつでも安全・快適な利用に資することができる。町内の史跡や文化財を町内外に広くPRすることで、地域の活性化につながる。
【令和6年度事業評価】
史跡や文化財関連施設の適切な管理保存及び景観保全が図られた。

6．財源の説明
【繰 入 金】 567千円（天女のふる里・東郷湖「花」基金）
【繰 入 金】 700千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【一般財源】2,161千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	160	160	25 寄附金		
11 役務費	214	214	26 公課費		
12 委託料	3,054	3,054	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	3,428	3,428

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	700	548
繰入金	18021301001	天女のふる里東郷湖「花」基金	567	532

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 001400000事業 施設管理費

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0030	文化財保護団体育成補助金	（簡略番号：016031）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		342	342		342	342
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	84	75	9	68	
	一般財源	258	267	△9	274	

【事業概要】

1．事業の概要と必要性
【事業の概要】
文化財保護団体等に対し、保存・伝承・公開等に係る経費を補助するもの。
（補助率は経費の1/2以内）
《補助対象団体等》※町または県指定無形民俗文化財
・東郷浪人踊保存会（県指定）、橘津ふるさとの文化を守る会（町指定・茶町踊り・湊神社の祭礼行事）、宇野三ツ星盆踊り保存会（町指定）、泊大名行列保存会（町指定）、泊貝がら節保存会（町指定）
【必要性】
貴重な町の無形民俗文化財の保護・伝承を図るため。

2．根拠法令
湯梨浜町文化財保護条例、湯梨浜町文化財保護団体育成事業補助金交付要綱
湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

3．用地の状況

4．基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見） SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5．本年度の計画効果
【本年度の計画】
町内の指定無形民俗文化財保存団体（5団体）の活動費に対する補助を行う。
【事業の効果】
無形民俗文化財の保存・公開などについて活動している団体を支援することで、先人から受け継いだ文化遺産を次世代に継承することが可能となる。また、郷土文化を核とした地元住民の連携と交流の促進を図り、もって地域活性化に資することができる。
【令和6年度事業評価】
保存会の活動に対し支援を行い、文化財の適切な保護が図られるとともに、地域の歴史文化を伝承していく機運の醸成につながった。

6．財源の説明
【繰 入 金】 84千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【一般財源】 258千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	342	342
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	342	342

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	84	75

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 003000000事業 文化財保護団体育成補助金

166

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0130	尾崎氏庭園管理費補助金	（簡略番号：016091）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		948	914	34	914	358
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	232	200	32	183	
	一般財源	716	714	2	731	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
①名勝尾崎氏庭園の維持管理に係る補助
事業費 1,760,000円（県50%、町25%、所有者25%） 町補助金　440,000円
②名勝尾崎氏庭園保存活用計画策定事業補助金
事業費 2,031,034円　町補助金（国庫補助を除いた額の1/2）　508,000円
【事業の必要性】 文化財の継続的な保全に資する。また、文化財の適切な保存・管理を行い、活用を図るため。

2. 根拠法令
文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例、湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
名勝尾崎氏庭園の植栽の管理及び借景地の整備費への補助。
雨水の排水対策や木塀の復旧工事、トイレ等の供用施設整備、借景地の整備等を計画的に実施していくための計画策定に係る費用への補助。
【事業の効果】
所有者の財政的な軽減を図ることで、文化財の継続的な保全に資することができる。
【令和6年度事業評価】
貴重な文化財の適切な保存が図られた。

6. 財源の説明
【繰 入 金】232千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【一般財源】716千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	948	948
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	948	948

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	232	200

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 013000000事業 尾崎氏庭園管理費補助金

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	06	文化振興費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0134	尾﨑家住宅管理費補助金	（簡略番号：032191）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		17,944	17,195	749	17,195	6,936
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	2,878	3,181	△303	3,181	
	地方債					
	その他	5,000	3,761	1,239	3,432	
	一般財源	10,066	10,253	△187	10,582	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
①重文尾﨑家住宅の維持管理経費（消防設備等）に係る補助。
事業費 57,000円(県50%、町25%、所有者25%) 町補助金 14,000円
②重文尾﨑家住宅の保存修理事業に係る補助。事業期間H29～R9年度（11箇年）
事業費 270,000,000円(国85%、県7.5%、町6.25%、所有者1.25%)町補助金 16,875,000円
③尾﨑家住宅保存修理事業の記録保存事業に対する補助。R5年度～R8年度（4箇年）
事業費 111,540円×1/2（町補助）町補助金55,000円
④尾﨑家住宅防災設備等整備事業に対する補助。R7年度～R9年度（3箇年）
事業費 16,000,000円(国85%、県7.5%、町6.25%、所有者1.25%)町補助金 1,000,000円
【事業の必要性】
江戸中期以前に建築された歴史的建造物が損なわれないよう、維持管理及び経年劣化などによる破損箇所を修復し、適切な保存管理を行うため。また、記録を残し活用を図る。

2. 根拠法令
文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例、消防法、消防法施行規則
鳥取県文化財等保存、保護事業費補助金交付要綱、湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見） SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
自動火災報知機の設備点検、建造物の保存修理事業、保存修理事業の記録映像保存事業及び防災設備等整備事業への補助。
【事業の効果】
所有所の負担を軽減することで、国重文建造物の継続的な保全と活用が可能となる。
【令和6年度事業評価】
建造物保存修理事業の実施により、貴重な文化財の適切な保存・維持管理が図られた。

6. 財源の説明
【県支出金】市町村創生交付金 2,878千円、【繰入金】ふるさと湯梨浜応援基金繰入金 5,000千円、【一般財源】10,066千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	17,944	17,944
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	17,944	17,944

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	2,878	
都道府県支出金	15020803424	市町村創生交付金（国指定重要		3,181
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	5,000	3,761

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	12,944	補助率		補助金額	2,878

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 013400000事業 尾﨑家住宅管理費補助金

166

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	07	歴史民俗資料館費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0110	歴史民俗資料館経常経費	（簡略番号：016173）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		516	661	△145	661	411
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	141	160	△19	148	
	一般財源	375	501	△126	513	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
羽合歴史民俗資料館及び泊歴史民俗資料館の維持管理費。
需用費　消耗品、光熱水費、修繕料
役務費　建物災害共済
委託料　消防設備点検
負担金　ミュージアムネットワーク会費
【事業の必要性】
施設の安全や快適な環境を維持し、来館者に良好に施設を提供するため。

2. 根拠法令
湯梨浜町歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
羽合歴史民俗資料館及び泊歴史民俗資料館の適切な維持管理を行う。
【事業の効果】
安全で快適な環境を維持することにより、施設を来館者に良好に提供することができる。
【R6年度事業評価】
羽合歴史民俗資料館で長瀬高浜遺跡発見50周年記念特別展示を開催し、また（公財）鳥取県教育文化財団調査室が実施した長瀬高浜遺跡発掘調査との相乗効果で、多数の来館者に本町の歴史と文化財をPRすることができた。
・入館者数 【羽合】R6見込1,000名　R5実績402名　R4実績275名
【泊】 R6見込　60名　R5実績212名　R4実績123名

6. 財源の説明
【使 用 料】20千円（歴史民俗資料館入館料）
【繰 入 金】121千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【一般財源】375千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2	2
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	386	386	25 寄附金		
11 役務費	47	47	26 公課費		
12 委託料	81	81	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	516	516

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602203	歴史民俗資料館入館料	20	20
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	121	140

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	08	風土記館費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0110	風土記館経常経費	（簡略番号：016205）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		4,045	3,899	146	3,965	3,758
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	999	864	135	790	
	一般財源	3,046	3,035	11	3,175	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
ハワイ風土記館及び馬ノ山公園の適正な維持管理をする。
需用費　消耗品費、光熱水費、修繕料
役務費　通信運搬費、建物共済
委託料　機械警備、清掃・草刈・修繕等管理、窓ガラス清掃、消防設備保守点検
【事業の必要性】
ハワイ風土記館の周辺には橘津古墳群（国史跡指定）が点在し、また、戦国時代の砦も確認されており、歴史とロマンに満ちた場所である。東郷池や羽合平野を一望できることから、年間を通じて町内外から来訪者がある。適正な維持管理を行い、来訪者に美しい景観と歴史に触れていただく場とする必要がある。

2. 根拠法令
ハワイ風土記館の設置及び管理に関する条例
ハワイ風土記館の設置及び管理に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】本館は歴史に関心のある人だけでなく、風光明媚であるためウォーキングコースとして来訪する人も多い。施設及び周辺の日常的な維持管理を行い、来訪者に美しい環境を提供する。
【事業の効果】適正な維持管理を行うことで、来訪者に美しい景観と歴史に触れていただく場を提供できる。
【令和6年度評価】町シルバー人材センターに管理委託し、来訪者の満足度を高めるための適切な維持管理ができた。

6. 財源の説明
【繰 入 金】 987千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【諸 収 入】 12千円（風土記館望遠鏡使用料）
【一般財源】3,046千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	623	623	25 寄附金		
11 役務費	101	101	26 公課費		
12 委託料	3,321	3,321	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	4,045	4,045

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	987	850
諸収入	20050302255	風土記館望遠鏡使用料	12	14

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 08目 011000000事業 風土記館経常経費

167

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	09	陶芸館費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0101	陶芸館経常経費　（簡略番号：016224）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		2,293	2,102	191	2,102	1,920
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	753	672	81	585	
	一般財源	1,540	1,430	110	1,517	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
陶芸指導員を配置し、定期的な陶芸体験教室を開催することで、陶芸をとおして町民のふれあいの場を提供するとともに、生きがいづくりと文化的な生活の向上を図る。
【事業の必要性】
気軽に陶芸を楽しむことができる体制を維持することで、同じ趣味をもつ者の交流や生涯を通じた生きがいづくりを推進することができる。

2. 根拠法令
湯梨浜町ふるさと陶芸館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）
SDGs　目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
毎月1回の陶芸体験教室、文化大学など町主催事業のほか、子ども会等の団体向けの陶芸教室を開催する。
【事業の効果】
陶芸指導員を配置することで、町民が気軽に施設を利用し陶芸を行い、ものづくりの体験を通じて生きがいづくりや文化的な生活の向上を図ることができる。また、指導員が陶芸館を定期的に見回ることで、より適切に施設を管理することができる。
【R6年度事業評価】
定期的に陶芸体験教室を開催し、生きがいづくりを推進することができた。また、定期的な利用者等に対し施設を良好に提供することができた。

6. 財源の説明
【使 用 料】 51千円(陶芸館使用料)
【繰 入 金】 499千円(ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【諸 収 入】 203千円(陶芸教室材料代)
【一般財源】1,540千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,146	1,146	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	5	5	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	640	640	25 寄附金		
11 役務費	98	98	26 公課費		
12 委託料	404	404	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	2,293	2,293

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602204	陶芸館使用料	51	69
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	499	400
諸収入	20050302254	陶芸教室材料代	203	203

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0001	スポーツ推進委員報酬　（簡略番号：016269）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,667	1,667		1,667	1,532
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,667	1,667		1,667	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
町スポーツ推進委員（全27名）に係る報酬及び費用弁償。
非常勤職員報酬　1,301,000円（会長53,000円/年、委員48,000円/年）
費 用 弁 償　365,400円（4,200円/回）
【事業の必要性】
生涯スポーツの普及と促進を行うため軽スポーツ教室やウォーキング教室を定期的に開催し、町民へ向けてスポーツを行う機会を幅広く提供するとともにイベント行事などの運営協力を行い町民1人1スポーツの推進並びに町民の健康づくりに資するために重要な役割りを果たしている。

2. 根拠法令
スポーツ基本法、湯梨浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
湯梨浜町スポーツ推進委員に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
気軽に参加できるレクリエーション・ニュースポーツの指導に当り、もって町民の健康増進が図られる。
【令和6年度評価】
生涯スポーツの普及と促進を行うため軽スポーツ教室やウォーキング教室を定期的に開催し町民1人1スポーツの推進並びに町民の健康づくりに取り組んでいる。
・軽スポーツ教室の開催　12回（年12回）
・ウォーキング教室の開催　5回（年 5回）
・その他各種イベントへの運営協力、地域でのニュースポーツの指導

6. 財源の説明
【一般財源】 1,667千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,301	1,301	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	366	366	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,667	1,667

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 000100000事業 スポーツ推進委員報酬

167

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0010	体育総務経常経費　（簡略番号：016273）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
町内学校施設の地域開放に伴う維持管理費
スポーツ推進委員の活動に係る事業経費
旅　費　50千円　中国地区スポーツ推進委員研修会
需用費 4,522千円　スポーツ推進委員事業消耗品費
学校施設社会体育利用分電気代
役務費　7千円　施設利用許可郵送等
負担金　16千円　中国地区スポーツ推進委員研修会参加費
【事業の必要性】
町内の学校体育施設を一般町民に開放することでスポーツに親しむ環境が整えられ、スポーツの振興が図られるとともに、スポーツを拠点とした町の活性化、健康づくりに資するため。また、スポーツ推進委員を設置し、町民のスポーツ振興を図る。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
良好に施設を提供することができること及びスポーツに親しむきっかけづくりとして資することができる。
【令和6年度評価】
町内の学校体育施設を一般町民に開放することでスポーツに親しむ環境整備が図られた。スポーツ推進委員の軽スポーツ教室、ウォーキング教室（歩こう会）、地域に出かけてのニュースポーツ指導などの事業を通して町民のスポーツ振興が図られた。

6. 財源の説明
【繰 入 金】4,150千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【一般財源】 445千円

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事 業 費		4,595	4,251	344	4,436	4,558
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	4,150	2,698	1,452	2,618	
	一般財源	445	1,553	△1,108	1,818	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	16	16
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	50	50	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	4,522	4,522	25 寄附金		
11 役務費	7	7	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	4,595	4,595

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	4,150	2,698

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
	大	0014	スポーツ少年団運営事業　（簡略番号：016293）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		2,567	2,453	114	2,453	2,349
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	7	7		7	
	一般財源	2,560	2,446	114	2,446	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
町スポーツ少年団（22単位団）の指導者びスポーツ少年団の活動に対する経費
（単位団概要）
軟式野球3団、サッカー2団、ミニバスケットボール4団、卓球1団、バドミントン2団
バレーボール2団、ソフトテニス1団、剣道1団、柔道1団、硬式テニス1団、ドッジボール1団、硬式野球1団、カヌー1団、空手1団の計22団（新規1団）
報償費　指導者謝金
需用費　交流大会経費、入団案内（冊子）作成費
補助金　指導者の登録料、ｽﾎﾟｰﾂ保険掛金、各団強化補助金
【事業の必要性】
スポーツを通して青少年の心身の健全な発育を図るために必要

2. 根拠法令
スポーツ基本法

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
スポーツを通して児童生徒の心身の健全育成が図られる。
【令和6年度評価】
全21団の活動に対し補助金交付を行い、活動しやすい環境整備を図りスポーツを通した児童生徒の心身の健全育成が図られている。

6. 財源の説明
【諸 収 入】　7千円（スポーツ安全保険広告料）
【一般財源】2,560千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,124	1,124
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	1,320	1,320	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	123	123	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	2,567	2,567

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302088	スポーツ安全保険広告料	7	7

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 001400000事業 スポーツ少年団運営事業

168

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0031	町体育協会補助金　（簡略番号：016337）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		4,000	4,000		4,000	4,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	3,612	2,539	1,073	2,463	
	一般財源	388	1,461	△1,073	1,537	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
町体育協会が行う各種町民スポーツ大会・スポーツ表彰並びに郡民・県民スポレク祭等への派遣などに必要な経費に対する補助金。
補助金 4,000千円 （総事業費4,376千円）
【事業の必要性】
町体育振興及び町民の健康増進並びに町活性化に資するため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【効果】
町体育振興及び町民の健康増進並びに町の活性化に資することができる。
【令和6年度評価】
雨天中止の町民大会もあったが、バウンスボール大会をはじめ駅伝大会、グラウンド・ゴルフ大会等、各種大会を実施した。
郡民・県民スポレク祭等への参加を通じ、町の体育振興及び町民の健康増進並びに町の活性化に資することができた。

6. 財源の説明
【繰 入 金】3,612千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【一般財源】 388千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,000	4,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	4,000	4,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	3,612	2,539

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
	大	0032	ベテラン卓球大会　（簡略番号：016341）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		550	550		550	550
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	550	550		550	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
昭和54年から始まり、令和7年度で第47回を迎える。
毎年9月の第1土・日の2日間、あやめ池スポーツセンターを主会場として全国の40代以上の卓球愛好者、約300人を迎え、団体戦と個人戦を実施する大会の運営に要する経費の補助金。
また、宿泊先の斡旋、弁当の斡旋、梨の販売等にも取り組み、大会を通じて町の観光産業の振興、町の活性化も図る。
町補助金　550,000円
【事業の必要性】
生涯スポーツの普及と大会を通じた宿泊及び梨狩りなど、町の観光産業振興、町の活性化に寄与するため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
にぎわいと活力あるまちづくり(観光の振興)
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
町の賑わい、観光産業振興が図られる。
【令和6年度評価】
9月7,8日（土、日）の2日間に渡り第46回大会を実施。9都府県176人の参加をいただき開催した。大会を通じ宿泊旅館や弁当の斡旋を行い、町の観光産業振興、町の活性化にも寄与することができた。

6. 財源の説明
【一般財源】550千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	550	550
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	550	550

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 003200000事業 ベテラン卓球大会

168

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業				
大	0035	日本海駅伝開催補助金	（簡略番号：016353）	
中				
小				
細				

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
全国の高校・一般のチームを対象に、例年全国から約110チームを迎えて10月頃に開催される大会の運営に要する経費の一部を負担する。
主催：(株)新日本海新聞社
補助金　700,000円

【事業の必要性】
高校の部参加の全国の有力校の走りを間近にすることで駅伝の醍醐味を味わうこと並びに参加チームの町内宿泊による観光・産業の振興及び「湯梨浜町」の全国発信を図るため、事業主催駅伝コースとなる町として、共に盛り上げることが必要。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】
志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
にぎわいと活力あるまちづくり
（観光の振興）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
有力アスリートを身近に見ることによってスポーツへの関心が高まることが期待されるとともに、町内宿泊による観光・産業の振興及び「湯梨浜町」の全国発信が図られる。
【令和6年度評価】
全国高校駅伝の前哨戦として、全国大会常連校など多くの強豪校94チームが出場。全国各地からの選手が訪れたため、町内ホテル、旅館・お土産物屋などを利用された。これからも地域に愛され全国から多くの高校が出場する大会として継続していくことにつなげていくことができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 700千円

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		700	700		700	700
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	700	700		700	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	700	700
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	700	700

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
	大	0127	ドラゴンカヌー事業　（簡略番号：023343）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,805	1,805		1,805	2,259
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	3	3		3	
	一般財源	1,802	1,802		1,802	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
ドラゴンカヌーを活用することにより、観光産業の振興、町の活性化を図る。
ドラゴンカヌー大会の開催補助（今年度25回目となる）
ドラゴンカヌーの維持管理
ドラゴンカヌーの湖面使用（占用）補償
【事業の必要性】
東郷池の活性化を図る事業として、また県内でも東郷池でしか取り組まれていない競技であり、広く親しまれ、町の活性化に大きく貢献しており、継続支援が必要。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
ﾄﾞﾗｺﾞﾝｶﾇｰ艇の維持管理、保全及び東郷池の魅力の一つとしての情報発信に資する。
【令和6年度評価】
ドラゴンカヌー大会は、コロナ前の参加チーム数に戻りつつあり、キッチンカーの出店や海外チーム参加など話題性を高めたほか、小学生による体験活動、町観光協会を主体とした教育旅行プランにより県外中・高校生の修学旅行の誘致、ワーケーションプログラムでの体験等により競技への関心を高めた。

6. 財源の説明
【使 用 料】　3千円（ドラゴンカヌー使用料）
【一般財源】 1,802千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,350	1,350
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	375	375
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	80	80	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,805	1,805

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602404	ドラゴンカヌー使用料	3	3

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

169

09款 05項 01目 012700000事業 ドラゴンカヌー事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0252	グラウンド・ゴルフ発祥地大会運営費補助金	（簡略番号：016572）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		2,665	2,665		2,665	2,365
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	2,600	2,600		2,600	
	その他	65	65		65	
	一般財源					

【事業概要】

1．事業の概要と必要性
【事業の概要】
6月14日（土）15日（日）に、『潮風の丘とまり』を会場として、全国のグラウンド・ゴルフ愛好者を対象に全国から672人(168チーム)を迎え、大会の運営経費の補助を行う。
町補助金 2,665千円（事業費 4,692千円 内、参加費等2,027千円）
主な経費 報償費 1,527千円(表彰、参加賞等)
需用費 695千円(消耗品、郷土料理材料費等)
通信料 133千円(郵券料等)
委託料 390千円(競技運営、クリーニング代等)
使用料 1,947千円(公園使用料、テント借上料等)
【事業の必要性】グラウンド・ゴルフ発祥の地をPRし、生涯スポーツの推進、町民との交流及び観光・産業振興を図るため。

2．根拠法令

3．用地の状況

4．基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
にぎわいと活力あるまちづくり（観光の振興）
共に支え合う町民が主役のまちづくり（多様な交流の推進）
SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5．本年度の計画効果
全国各地からのプレーヤーとの交流はもとより、宿泊や特産品の販売など、観光と産業振興が図られる。また、グラウンド・ゴルフ競技の一層の普及が図られる。
町内旅館への宿泊を促す。
【令和6年度評価】新型コロナウイルス感染症の影響により昨年同様1チーム3名で開催。
実績 県内37チーム、県外155チーム。来年度の大会へ向け準備を進めている。

6．財源の説明
【地方債】2,600千円（過疎対策事業債 充当率100% 交付税措置率70%）
【繰入金】 65千円（グラウンドゴルフ発祥地大会基金）

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,665	2,665
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	2,665	2,665

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18020901401	グラウンドゴルフ発祥地大会基	65	65
地方債	21010604002	過疎対策事業債（グラウンド・	2,600	2,600

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

169

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0254	グラウンド・ゴルフ国際大会運営費補助金	（簡略番号：033522）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		4,709	4,709		2,612	2,866
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	421	717	△296	740	
	一般財源	4,288	3,992	296	1,872	

【事業概要】

1．事業の概要と必要性
【事業の概要】
本町発祥のグラウンド・ゴルフを世界に普及させるべく、海外へのPR活動を行うとともに、発祥の地での国際大会の開催の補助を行う。（募集人数384名）
事業費　7,862千円（町補助金4,709千円　県補助金2,000千円　参加費等1,153千円）
報償費（表彰副賞、参加賞等）　旅　費（海外選手宿泊助成等　@5,000円/泊・人）
需用費（事務費、郷土料理材料費等）　使用料（公園使用料、テント借上料）
役務費　（郵券料、保険代）　委託料（競技運営委託、ステージ看板設営等）
【事業の必要性】
本町で開催される国際大会や2027年委開催するワールドマスターズゲームズへの機運醸成、インバウンドの促進など観光・産業振興を図るため。

2．根拠法令

3．用地の状況

4．基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
にぎわいと活力あるまちづくり（観光の振興）
共に支え合う町民が主役のまちづくり（多様な交流の推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5．本年度の計画効果
【本年度の計画】
①海外への普及促進・プロモーション活動（実行委員会への補助）
②グラウンド・ゴルフ国際大会の開催（実行委員会への補助）
③海外からの参加者への宿泊補助
【事業の効果】
発祥地として本町の国際的な認知度を向上、外国人宿泊客を確保することができる。
【令和6年度評価】
10月に大会を開催し、海外（外国籍の方）や国内（日本国籍）の方々から好評を得た。

6．財源の説明
【繰 入 金】 421千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）
【一般財源】4,288千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,709	4,709
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	4,709	4,709

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	421	717

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 025400000事業 グラウンド・ゴルフ国際大会運営費補助金

169

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課(生涯

事業			
大	0009	体育施設管理経常経費	（簡略番号：016581）
中			
小			
細			

事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		4,887	4,685	202	4,685	4,086
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	4,465	3,201	1,264	3,124	
	一般財源	422	1,484	△1,062	1,561	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
社会体育施設の維持管理に係る経費（北溟体育館、羽合野球場、泊体育館、泊テニス場、泊野球場、泊相撲場、東郷体育館、羽合西コミュニティ体育館）
報償費　鍵管理謝金
需用費　消耗品費、光熱水費、修繕料
役務費　郵券料、手数料、建物共済負担金
委託料　消防設備点検、施設清掃・除草など
使用料　AEDリース、乗用草刈機借り上げ料
【事業の必要性】
町民1人1スポーツを実現するための施設として、良好に提供するため。

2. 根拠法令
湯梨浜町社会体育施設の設置及び管理に関する条例・施行規則
小学校及び中学校体育館並びに社会体育施設等の照明灯交換基準要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画効果】
施設の適正な維持管理を行うことにより良好な施設の提供ができる。
【令和6年度評価】
社会体育施設の定期的な維持管理業務を行い、利用者へ良好な施設提供を行い町民1人1スポーツの実現に向けて取り組んでいる。
・年間利用者数　8施設　延べ20,700人（見込）　R5実績　19,776人

6. 財源の説明
【使 用 料】 533千円（体育施設使用料）
【繰 入 金】3,932千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【一般財源】 422千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	10	10	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,664	2,664	25 寄附金		
11 役務費	728	728	26 公課費		
12 委託料	1,242	1,242	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	243	243	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	4,887	4,887

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602403	体育施設使用料	533	623
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	3,932	2,578

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 02目 000900000事業 体育施設管理経常経費

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	02	体育施設費

所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯

事業			
大	0010	体育施設管理臨時経費	（簡略番号：016650）
中			
小			
細			

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		28,654	33,951	△5,297	56,959	58,472
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	25,000	6,600	18,400	6,600	
	その他					
	一般財源	3,654	27,351	△23,697	50,359	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
社会体育施設の改修等を行う。
【事業の必要性】
施設の改修等を行い、利用者に良好な施設を提供するため。
【事業の内容】
羽合小学校グラウンド照明LED交換
羽合野球場水道修繕

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
SDGs　目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【計画】社会体育施設の改修等を行う。
【効果】良好な施設を提供し、スポーツに親しむきっかけづくりに資することができる。
【令和6年度評価】
北溟体育館照明LED改修工事、北溟体育館駐車場改修工事を実施した。利用者に安全安心な施設提供に努めるとともに、スポーツ振興を図ることができた。

6. 財源の説明
【地 方 債】25,000千円（脱炭素化推進事業債　充当率90%　交付税措置率50%）
【一般財源】3,654千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	28,654	28,654			
15 原材料費			合　計	28,654	28,654

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010603002	脱炭素化推進事業債（体育施設	25,000	6,600

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 02目 001000000事業 体育施設管理臨時経費

169

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目	01	人権教育総務費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
	大	0010	人権教育総務経常経費　（簡略番号：016784）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		3,514	3,237	277	3,528	2,735
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,514	3,237	277	3,528	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
町内の人権教育を推進するために設置する町人権教育研究推進員（全7名）の報償費及び全国集会等参加に係る県外出張旅費及び資料代等。会計年度任用職員1名の給与。

【事業の必要性】
全国各地で部落差別をはじめあらゆる人権問題の早期解決を図るため取り組んでいる事例や成果を学ぶこと及び人権教育研究推進員による事業評価等を通して、町の一層の人権教育推進を図るため。

2. 根拠法令
湯梨浜町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例
湯梨浜町人権教育研究推進員の設置及び運営に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】人権教育の推進、人権啓発の推進
SDGs目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
部落差別をはじめあらゆる人権問題の早期解決に向け、各地で取り組んでいる諸集会での事例、実践、研究発表等を学ぶことにより、今後の町の人権教育・啓発の推進が図られる。町や県の取り組みを広く町民に周知することにより人権教育・啓発の推進が図られる。
【令和6年度評価】
部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権尊重社会を実現することをめざして、全国各地の事例や成果を学んだ。また人権教育研究推進員による事業評価等を通して、町の一層の人権教育推進を図った。

6. 財源の説明
【一般財源】3,514千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,101	2,101	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	795	795	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	501	501	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	84	84	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	22	22	25 寄附金		
11 役務費	11	11	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	3,514	3,514

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目	01	人権教育総務費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
	大	0034	人権教育推進活性化事業　（簡略番号：016827）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		436	469	△33	258	136
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	435	456	△21	257	
	地方債					
	その他					
	一般財源	1	13	△12	1	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
人権意識向上のための啓発活動として町民のつどい、人権教育推進大会、ゆりはま人権セミナー(3回)を実施する。
報償費　講師謝金
旅費　講師旅費
需用費　啓発物品
委託料　公演委託
【事業の必要性】
部落差別をはじめあらゆる差別をなくすため、年間を通して計画的に人権教育・啓発事業を行うことで、町民に対し人権感覚の向上と人権尊重意識の向上を図るため。

2. 根拠法令
湯梨浜町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画】人権啓発の推進
SDGs目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
【効果】
人権尊重の重要性の再認識、人権問題を自分の問題として捉えること及び人権尊重の意識向上が図られる。
【令和6年度の事業評価】
町民のつどい、ゆりはま人権セミナー、ゆりはま人権フェスティバル等の開催により町民の人権意識の向上に資することができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 435千円(人権啓発活動委託金)
【一般財源】　1千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	14	14	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	2	2	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	420	420	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	436	436

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15030601203	人権啓発活動委託金	435	456

【補助金】

補助金等の名称	人権啓発活動委託費				
補助基本額	435	補助率	100.0%	補助金額	435

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

171

09款 06項 01目 003400000事業 人権教育推進活性化事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

（単位：千円）

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目	01	人権教育総務費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
	大	0113	人権教育住民意識調査事業　（簡略番号：016907）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		813		813		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	813		813		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町民の人権に関する意識を把握するため、5年ごとに無作為に抽出した個人へアンケート調査を行う。(H23、H28、R3に実施)

・抽 出 数　2,000人(R3　回収率55.6%　1,111人)
・調査方法　郵送による依頼、オンライン回答または返信用封筒で回答回収
・実施内容　7月発送　8月回収　9月～1月分析　2月結果概要刊行(全戸配布)
・検討委員会(人権教育研究推進員7人)

【事業の必要性】

令和8年度に、湯梨浜町あらゆる差別をなくする総合計画第4次改定を行うにあたり、調査結果を基礎資料とするため。

5年毎に、総合計画改定を実施しており、改定前年に意識調査を実施し、調査結果を改定内容に活用する。

2. 根拠法令

湯梨浜町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画
SDGs目標16「平和と公平をすべての人に」

5. 本年度の計画効果

【計画】町民2,000人に対して意識調査を実施し、結果を考察する。
【効果】あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画改定の基礎資料として調査結果を活用し、また効果的な人権教育啓発事業を実施するための一助とする。

6. 財源の説明

【一般財源】813千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	68	68	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	180	180	25 寄附金		
11 役務費	565	565	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	813	813

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度　001 一般会計
現年　　当初予算

歳出予算事業概要書

（単位：千円）

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目	01	人権教育総務費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課(人権

事業			
	大	0136	町人権教育推進協議会事業　（簡略番号：016931）
	中		
	小		
	細		

事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区　分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,435	1,591	△156	1,591	1,488
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	319	377	△58	377	
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,116	1,214	△98	1,214	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けて、町人権教育推進協議会が実施する、ゆりはま人権セミナー、町民のつどい、人権教育推進大会等の研修や講演、人権標語の募集、地域部会を中心に各集落で行われる人権教育座談会等に係る講師謝金や旅費等の経費に係る補助。
補助金　1,435,00円（内3地区人権教育推進協議会分930,000円）

【必要性】
様々な人権問題が依然として存在している現在、町民に対して行政・学校・家庭・職場・地域社会が連携して人権教育に関する研修や啓発活動を継続的に推進し、人権問題に対する正しい理解を深め、人権尊重意識の向上を図るため。

2. 根拠法令
湯梨浜町部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくする条例
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって　共に学び　明日を拓く　ひとづくり(人権教育の充実)
【あらゆる差別をなくする総合計画】人権啓発の推進
SDGs目標10「人や国の不平等をなくそう」

5. 本年度の計画効果
町民の人権問題に対する正しい理解が深められ、また人権尊重意識の向上が図られる。
【令和6年度評価】
部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けて、小・中学生からの人権標語の募集等を含め町民対象の人権教育講演会や各種研修会等を開催、町内3地区では、人権教育座談会を実施し、行政・学校・職場・地域社会とが連携して人権教育を推進することができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 319千円（市町村創生交付金）
【一般財源】1,116千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,435	1,435
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合　計	1,435	1,435

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	319	
都道府県支出金	15020803419	市町村創生交付金(人権教育推		377

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	1,435	補助率		補助金額	319

【実施計画】

実施計画				実施計画計上額
	部			
	章			
	節			
	細節			

169

09款 06項 01目 013600000事業 町人権教育推進協議会事業